



株式会社ミツウロコグループホールディングス

〒104-0031

東京都中央区京橋三丁目1番1号 東京スクエアガーデン

TEL:03-3275-6300 (代表) FAX:03-3275-6350

mail: ir-sec8131@mitsuuroko.co.jp

●本書では、視認性、判読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。



ちびまる子ちゃん 「ちびまる子ちゃん」(フジテレビ系列)で  
©さくらプロダクション/日本アニメーション ミツウロコ企業広告CMオンエア中!

株式会社ミツウロコグループホールディングス

# 第106期 中間報告書

2014年4月1日～2014年9月30日



## Mitsuuroko Group Interim Report 106th



ミツウロコグループは、**地球にやさしいエネルギー**と**生活周辺サービス**を中心に、**豊かなくらしづくりに貢献**している企業グループです。



**エネルギー事業**

LPガス、石油、新エネルギー機器等の販売



**PM/健康・スポーツ事業**

オフィスビル、マンション等の賃貸、複合商業施設の経営



**電力事業**

風力発電、バイオマス発電、メガソーラー発電、新電力(PPS)事業での電気販売



**リース事業**

一般事務用機器、情報通信機器、産業用機械、輸送機器等のリース



**飲料事業**

ミネラルウォーターを中心とした清涼飲料水の製造・販売



**業務サポート事業**

料金収納代行、システム開発等



**保険代理事業**

火災保険、損害保険、生命保険等、各種保険の取り扱い

**DATAで見る  
ミツウロコグループ**

売上高

**2,322億円**

第105期連結  
(2013年4月1日～2014年3月31日)

経常利益

**53億円**

第105期連結  
(2013年4月1日～2014年3月31日)

事業所数

**134拠点**

2014年9月末現在

従業員数

**1,715名**

2014年9月末現在

LPガス供給軒数

**約80万軒**

純利益

**28億円**

第105期連結  
(2013年4月1日～2014年3月31日)

創立

**89年**

家庭用燃料電池

エネファーム(LPG仕様)／販売シェア(2013年度)

**15%超**

再生可能エネルギー発電量/年間

**約2億7,000万kWh**

約72,600世帯相当 ※現在建設中および計画発電所を含む

# 「豊かなくらしのにないて」として、 グループ全体で 企業価値の向上をめざします

### 第2四半期の業績について（平成26年4月1日～9月30日）

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、政府の経済政策や金融緩和策により円安・株高が進み、また堅調な内需に支えられ、緩やかな回復基調が続いておりますが、輸入物価の上昇を背景とした国内物価への上昇圧力や消費税率の引き上げによる個人消費の低迷の懸念等から、国内景気の持ち直しの動きは鈍く、欧州景気の押下げ懸念および新興国経済の減速への警戒感等もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

また、当社グループを取り巻く経営環境においては、原油価格およびLPガス仕入価格の指標となるCP（Contract

Price＝輸入通告価格）が長期的に高い水準を維持していることに加え、円安による為替相場の影響もあり、仕入価格の高止まり状態が恒常化しており、競合エネルギーとの価格競争にも一定の影響が見られるなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした状況下、当社は様々な業務コスト低減策の取り組みにより経営の合理化を進め、高水準のまま推移する輸入価格と円安に伴う仕入価格上昇に対応すべくLPガスの価格適正化への継続的な取り組みや、2,000kWh未達の規模の太陽光発電所設置に注力いたしましたが、省エネ機器の普及および節約志向の定着に伴う一世帯あたりエネルギー消費量の低下等が販売量の減少につながった結果、当第2

四半期連結累計期間の売上高は前年同期比7.7%増の1,048億円と伸長したものの、営業利益は前年同期比96.9%減の62百万円、経常利益は前年同期比66.9%減の7億44百万円となり、四半期純利益は前年同期比50.6%減の5億83百万円となりました。

現在当社グループでは、新たな事業として、農業を従来どおりに行いながら農地の上に太陽光パネルを設置する新たな形の太陽光発電システムや、通販サイト「solemo」の多チャネル展開など、新商材の提案や販路の拡大に取り組んでおり、また7月には富津市にグループ内の電力事業会社が共同事業で出資する大規模太陽光発電事業において、発電出力40.4メガワットの『富津ソーラー発電所』の運転を開始しております。更にグループ内の飲料事業会社では、平成27年1月に岐阜県に飲料水製造工場を有している「勝水株式会社」が新設する会社の全株式を取得する予定であり、これにより既存の工場と合わせて全国への販売・物流体制を整備する事が可能となります。

これらの取り組みにより、今後のグループ業績への貢献を見込むとともに、これまでに増して豊かなくらしのにないてとして、広く社会に貢献する企業グループを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営活動にご理解をいただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長兼グループCEO 田島晃平



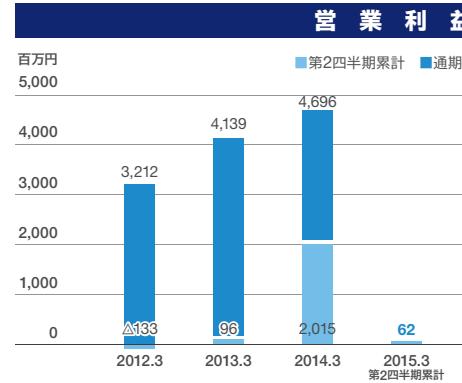


**1 エネルギー事業** 新エネルギー機器の販売数量が伸び悩んだものの、石油製品やLPガスは仕入価格上昇に伴い販売価格が増加したことや、太陽光発電所(2,000kWh未満)の一部運転開始に伴う売電等の貢献により売上高は前年同期比5.0%増の925億46百万円となりました。

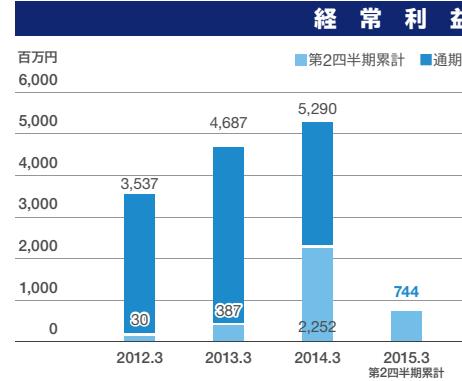
**2 PM/健康・スポーツ事業** 複合商業施設「HAMABOWL EAS(ハマボールイース)」内の温泉施設「SPA EAS(スパイアス)」の入場者数増加や、新規物件の賃貸開始等によるテナント収入の増加により、売上高は前年同期比1.6%増の14億6百万円となりました。

**3 電力事業** 旺盛な需要を背景に新電力(PPS=特定規模電気事業者)での電気販売量が大きく増加したことにより、売上高は前年同期比39.2%増の84億42百万円となりました。

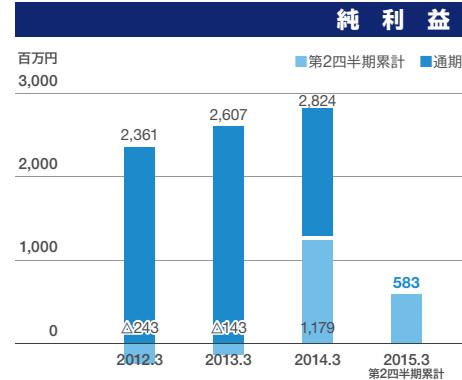
**4 その他事業** 飲料関連事業におけるFC事業の店舗数拡大や飲料水の販売量伸長および大型リース契約の増加等により、売上高は前年同期比44.6%増の24億5百万円となりました。



電力事業および飲食関連事業が大幅に伸長する一方、LPガスおよび石油の燃料仕入価格が高止まりとなっていることに加え、前期はたな卸資産の数量に係る見積り算定方法の変更により売上原価が減少していたこと等により営業利益は前年同期比で19億円減少しました。



営業利益が19億円減少した一方で、持分法適用会社の利益増加に伴い、持分法による投資利益が5億円増加したこと等により、経常利益は前年同期比で15億円減少しました。



経常利益が15億円減少した一方で、借入金繰上返済精算金の減少および固定資産除却損の減少、法人税の減少等により、四半期純利益は前年同期比で5億円減少しました。

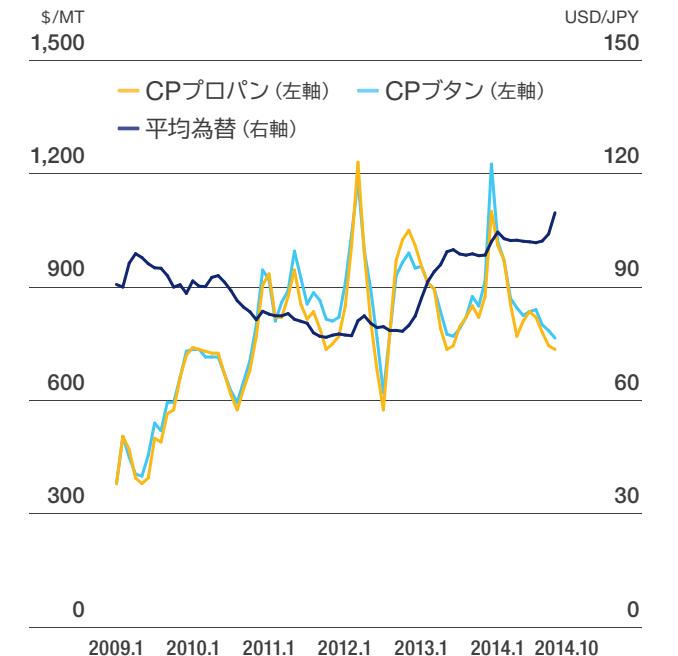


## LPガスの市場環境

輸入が大半を占めるLPガスの価格は、輸出国の港を通関する際の価格(CP=Contract Price)の影響を大きく受けます。CPIは、サウジアラビアの国営石油会社サウジアラムコ社が、原油価格動向等をもとに自社の総合基準により決定する一方的な通告価格で、価格交渉の余地がありません。

2014年10月時点で735ドル(CPプロパン)と2014年に入ってから下落傾向ではありますが、5年前に比べると依然として高い水準で推移しています。下落傾向の理由としては、サウジアラビアやリビア、イラクといった主な産ガス国の原油生産量が増加傾向にあることや米国や中国の経済指標が弱いことが主な理由となっていますが、一方で急速な円安傾向が更に進み、米ドルで取引されるCPの日本国内における仕入れ価格が大きく上昇しているため、販売価格に反映しきれていない状況にあります。更に今後需要期である冬場を迎えるにあたり、米軍による「イスラム国」への空爆や今回のOPEC総会で原油の生産枠が削減されるとの見方など、CPの上昇要因も依然残っているため、今後の状況を注視していく必要があります。

## LPガス輸入価格と為替の推移



# 「ミツウロコの強さと可能性」

安定した供給をお約束できる  
クリーンなエネルギーを  
お届けしています。

株式会社ミツウロコ  
営業統括部 LPガス担当 兼 事業企画担当

**松崎 光** (2010年入社)



私は、本社営業統括部で、広域事業展開される法人のお客さまへのLPガス販売を統括する仕事をしています。飲食店や福祉施設などの恒常的な燃料消費が必要とされる事業を全国で営まれ、本部で統括管理されているお客さまに対し、一括してLPガス供給量や販売価格を調整し対応させていただくことが私の仕事となりますが、お客さまからは全国80万世帯に向けて安定した供給物流網を確保する当社LPガス販売体制を高く評価いただいています。

### ミツウロコの強み!

全国展開のスケールメリットを活かした安定した価格と綿密なサービス体制だけでなく、法定基準よりも高い基準を自社設定する安全性の高さが、お客さまからの信頼につながっています。



父が電力関係の仕事をしていたため、私はエネルギーの重要性を昔から認識していたのですが、この仕事に就いて、災害時の復旧が他のエネルギーに比べて早く、地域インフラの整備状況に拘わらず一律に安定供給できるLPガスへの期待感を強く感じる事ができました。都市ガスや電気の販売自由化により、暮らしを支えるエネルギーのあり方が問われていますが、大気汚染物質の排出量が少ないLPガスはクリーンなエネルギーとしてこれからも活躍の場を拓げていくものと思われます。私も、お客さまに安心安全なLPガスをお届けするこの仕事を通じて、未来に貢献していきたいと思えます。

「豊かなくらしのにないて」として、人と地球にやさしいエネルギーを見つめる、ミツウロコ。幅広い事業が社会に示す価値と可能性を、第一線で働く担当者に語ってもらいました。

お客さまの豊かなくらしを  
見守るコーディネーターの役割を  
果たします。

株式会社ミツウロコ  
茨城支店 ホームエネルギーグループ 開発チーム

**川井菜々恵** (2013年入社)



地球にやさしい太陽光発電に学生時代から興味があり、その願いがかなって、ご家庭や法人のお客さまに太陽光発電システムをおすすめする仕事をしています。技術面で信頼できるシステムをご提供することはもちろんですが、当社ではお客さまに最適なシステムをお選びいただき、安心してお使いいただくことを何よりも大切なことだと考えています。

### ミツウロコの強み!

システムの発電量シミュレーションでは正確な見積りを提出する、設置時や故障の際には営業スタッフが責任を持って窓口の役割を果たすなど、お客さまとの信頼関係を一番大切にしています。

ときには屋根にだって登ります!



そのために私が屋根まで登る姿を見て、お客さまもかなり驚かされているみたいですね。

昔から煤炭やガスの販売を通じてお客さまに直に接してきた当社は、新エネルギー事業やリフォーム事業など、豊かなくらしづくりに貢献するサービスの提供に積極的に取り組む会社です。私自身も、お客さまに新しいものを提案する、興味を持っていただく、それを採用して喜んでもらえるというプロセスがものすごく楽しく感じられます。当社は生活周辺サービス事業の強化に取り組んでおり、私も手すりの高さや使いやすさなどの知識を得るために福祉コーディネーターなどの資格を取得し、今よりも更に幅広い視野からお客さまのお役に立てるようになりたいと考えています。



# 事業概況

## エネルギー事業



太陽光発電システムや家庭用燃料電池エネファーム等の新エネルギー機器の販売数量は伸び悩みましたが、石油製品やLPガスは仕入価格上昇に伴い販売価格が増加したことや、各地で計画している太陽光発電所(2,000kWh未満)の一部運転開始に伴う売電等の貢献により売上高は前年同期比5.0%増の925億46百万円となりました。



なお、LPガスのCPが長期的に高水準を維持しているとともに、円安傾向が続いていることで仕入価格が高止まりになっていることに加え、前年同期においては、グループ基幹システムの変更により、LPガス在庫数量の算定方法が変更され、売上原価が減少したことによる営業利益の増加があったこともあり、営業損益は前年同期比22億33百万円悪化し、97百万円の営業損失(前年同期は営業利益21億35百万円)となりました。

### Topics

## 中古車買取店併設型サービスステーション営業開始



野田サービスステーション外観

中古車買取・販売店「ラビット」併設

※1 日本最大の中古車オークション運営会社である、株式会社USS(東証1部上場)のグループ企業であり、「ラビット」の名称で全国フランチャイズ展開を行っております。

※2 「ラビット」のサービスステーション併設は業界初となります。

2014年10月1日、ミツウロコ石油株式会社で、中古車買取店併設型サービスステーション「野田サービスステーション(千葉県野田市花井)」の営業を開始いたしました。

当サービスステーションは、ミツウロコグループが運営するサービスステーションの中で最大級の敷地面積(約2,500㎡)を誇り、5基の給油機新設により、10台の車輛へ同時に給油が可能となっております。

また、「ちびまる子ちゃん」のキャラクターを配したサービスステーションとしては10店舗目となり、昼夜交通量の多い国道16号線沿いに位置していることから、更なる知名度の向上も期待されます。

更に、株式会社ラビット・カーネットワーク※1との共同事業による業界初※2の中古車買取店併設型サービスステーションとし、中古車展示スペースも新たに設置いたします。既存の中古車販売事業と併せ、「販売・給油・メンテナンス・車検・買取」の一連のサービスを一貫して行うワンストップカーサービスステーションの1号店となります。

### サービスステーション概要

給油所名称	ミツウロコ石油株式会社 野田給油所
所在地	千葉県野田市花井285-1
総敷地面積	2,430㎡
サービス形式	セルフサービス型
計量機	マルチ5基、同時給油10台、 灯油ダブル1基
設備	ドライブスルー 洗車機1台
営業時間	24時間
中古車展示場	乗用車10台分

### 第2四半期累計売上高

# 925億46百万円

前年同期比 **5.0%増**

### 営業損失

# 97百万円

前年同期比 **104.6%減**

## 事業概況

### PM/健康・スポーツ事業



横浜駅西口の複合商業施設「HAMABOWL EAS (ハマボールイース)」内の温浴施設「SPA EAS (スパイース)」の入場者数増加や、新規物件の賃貸開始等によるテナント収入の増加により、売上高は前年同期比1.6%増の14億6百万円となり、減価償却費負担額の低減や販売管理費の削減効果により、営業利益は前年同期比7.3%増の2億1百万円となりました。



第2四半期累計売上高

**14億6百万円**

前年同期比 **1.6%増**

営業利益

**2億1百万円**

前年同期比 **7.3%増**

### 電力事業



旺盛な需要を背景に新電力（PPS=特定規模電気事業者）での電気販売量が大きく増加したことにより、売上高は前年同期比39.2%増の84億42百万円、営業利益は前年同期比24.3%増の3億62百万円となりました。



第2四半期累計売上高

**84億42百万円**

前年同期比 **39.2%増**

営業利益

**3億62百万円**

前年同期比 **24.3%増**

### その他事業



飲料関連事業として展開するFC事業における店舗数の拡大や飲料水の販売量の伸長により、飲料関連事業の売上高、営業利益ともに増加し、売上高は前年同期比44.6%増の24億5百万円となりましたが、リース事業の販売管理費の増加の影響により、営業損益は前年同期比57百万円悪化し、12百万円の営業損失（前年同期は営業利益44百万円）となりました。



第2四半期累計売上高

**24億5百万円**

前年同期比 **44.6%増**

営業損失

**12百万円**

前年同期比 **129.0%減**

## Close Up!

### 「U-1グランプリ」に協賛しました!

「U-1グランプリ」は、日本全国の名物うどんが一堂に集結し、その年一番のご当地うどんを決定するお祭りです。2014年は大阪・万博記念公園で開催されたグランプリに、ミツウロコは協賛企業として参加し、全国から馳せ参じた17店舗のLPガス供給に協力しました。各うどん店舗にLPガスを提供し5日間の調理を支えるとともに、協賛ブースで「PUWATER」等を販売し、茹でたてのおいしさを堪能するお手伝いをさせていただきます。



上:北海道から九州までのおいしいうどんが大阪に集結  
下:ちびまる子ちゃんのみつうろこブースも大盛況

### 通販サイト「solemo」多チャネル展開を開始!

“上質を知る欲張りなヴィンテージ世代へ”をキャッチコピーとするミツウロコの通販サイト「solemo (ソレモ)」が、オンラインのみならず、オフラインへも発信のステージを拡げています。

2014年6月からは、テレビ神奈川 (TVK) のお昼の人気番組「ありがとっ!」で、毎月第2・第4日曜日に「solemo」おすすめアイテムを紹介するコーナーがスタート。7月からは、季節毎のセレクト商品を全国のお客さまにお知らせする紙面カタログ「solemone (ソレモネ)」の配布を開始しました。茨城支店主催の「ミツウロコ サンクスフェスティバル」でも直販ブースが設けられ、SPA EAS館内にも特設販売ブースがオープンするなど、インターネット以外のあらゆる販売チャネルに向けて、幅広く「solemo」の魅力をお伝えしています。



紙面カタログ「solemone」で楽しむ季節のアイテム



SPA EAS館内を飾るsolemo一押しブランド

solemo <http://solemo.jp>

### ミツウロコビバレッジ工場のご紹介

#### 山中湖工場

ミツウロコビバレッジ山中湖工場  
山梨県南都留郡山中湖村山中316-2

緑豊かな樹海と富士山の伏流水が脈々と注ぎ込む富士五湖を周辺に抱く、富士箱根伊豆国立公園。ミツウロコビバレッジの「バナジウム天然水」は、この豊かな自然の中で採水されています。

2010年3月に竣工した山中湖工場の標高は1,000m。そのため、井戸から採れる水のバナジウム含有量が多く、不足しがちなミネラル成分がぎっしりと凝縮されています。ペットボトル製品専用工場として稼働する同工場では、環境に配慮したブロー成形により500ml、2ℓ用のペットボトルを製造。ボトル洗浄、加熱殺菌された天然水の充填、キャッピング、搬送の全工程を人や物の出入りを遮断したクリーンな環境下で処理し、安心して味わうことのできるペットボトル製品にしてお届けしています。



衛生管理を徹底した環境下、自動充填されていく「バナジウム天然水」

#### 鳴沢工場

ミツウロコビバレッジ鳴沢工場  
山梨県南都留郡鳴沢村4414

2001年から稼働する鳴沢工場では、標高950m・水深100mの井戸から原水を採取しています。富士山の玄武岩に含まれるバナジウムを多く含むまろやかな軟水は、料理もおいしく感じさせると評判も高く、ミツウロコビバレッジ商品「富士の宝物バナジウム63天然水」として多くのお客さまから親しまれています。

同工場では、2008年に食品安全マネジメントシステムの国際規格・ISO22000を取得。ろ過されたクリーンエアが送り込まれる充填室内に全自動充填機を導入し、衛生環境を一層充実させました。更にパッケージにラミネート容器と段ボール外装で構成されるBIB (バッグインボックス) を採用。空気や直射日光をも遠ざけて自然のままのおいしさを損なうことなく、お届けしています。



最新の生産設備と衛生技術を駆使し、1日2,400ケースのBIBを生産しています

# 連結財務情報

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	2014年4月 1日から 2014年9月30日まで	2013年4月 1日から 2013年9月30日まで
売上高	104,800	97,269
売上原価	92,669	82,457
売上総利益	12,130	14,811
販売費および一般管理費	12,068	12,796
営業利益	62	2,015
営業外収益	917	472
営業外費用	234	234
経常利益	744	2,252
特別利益	6	19
特別損失	32	119
税金等調整前四半期純利益	718	2,152
法人税、住民税および事業税	495	1,094
法人税等調整額	△386	△120
少数株主損益調整前 四半期純利益	608	1,178
少数株主利益又は少数株主損失(△)	24	△0
四半期純利益	583	1,179

## 当期のポイント

- ① 電力事業および飲食関連事業が大幅に伸長する一方、LPガスおよび石油の燃料仕入価格が高止まりとなっていることに加え、前期はたな卸資産の数量に係る見積り算定方法の変更により売上原価が減少していたこと等による営業利益の減少および法人税の減少等により四半期純利益は前年同期比で5億円減少しました。
- ② キャッシュ・フローの状況は、売上債権の減少および仕入債務の減少等により営業活動でプラス10億円、固定資産の取得等により投資活動でマイナス15億円、長期借入および借入返済、また配当金の支払い等により財務活動でマイナス3億円となりました。
- ③ 総資産は、売上債権の減少および投資有価証券の増加等により前年同期比39億円の減少、負債は、仕入債務の減少および長期借入金の増加等により前年同期比37億円の減少、また純資産は、配当金の支払いおよび四半期純利益の計上等により前年同期比1億円の減少となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	2014年4月 1日から 2014年9月30日まで	2013年4月 1日から 2013年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,021	2,010
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,577	△297
財務活動による キャッシュ・フロー	△348	△551
現金および現金同等物の 増減額(△は減少)	△903	1,160
現金および現金同等物の 期首残高	19,185	17,971
現金および現金同等物の 四半期末残高	18,281	19,132

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計 年度末
	2014年9月30日現在	2014年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	62,707	67,601
現金および預金	33,076	34,002
受取手形および売掛金	15,307	19,799
商品および製品	6,212	6,529
繰延税金資産	885	550
その他	7,299	6,842
貸倒引当金	△73	△123
固定資産	61,593	60,664
有形固定資産	33,411	33,574
建物および構築物(純額)	11,736	12,011
機械装置および運搬具(純額)	7,493	7,648
土地	12,487	12,396
建設仮勘定	437	219
その他(純額)	1,256	1,298
無形固定資産	3,383	3,416
のれん	1,470	1,488
その他	1,913	1,928
投資その他の資産	24,798	23,673
投資有価証券	16,961	15,865
繰延税金資産	705	633
その他	7,574	7,398
貸倒引当金	△442	△224
<b>資産合計</b>	<b>124,301</b>	<b>128,265</b>

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計 年度末
	2014年9月30日現在	2014年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	28,666	33,751
支払手形および買掛金	15,231	19,276
短期借入金	9,462	9,898
未払法人税等	289	964
引当金	802	837
資産除去債務	12	2
その他	2,869	2,772
固定負債	28,690	27,399
長期借入金	16,715	15,519
繰延税金負債	3,658	3,477
その他の引当金	499	507
退職給付に係る負債	1,889	1,802
資産除去債務	840	825
その他	5,087	5,266
<b>負債合計</b>	<b>57,357</b>	<b>61,151</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	62,708	63,151
資本金	7,077	7,077
資本剰余金	5,843	5,843
利益剰余金	52,999	53,442
自己株式	△3,213	△3,213
その他の包括利益累計額	4,088	3,841
その他有価証券評価差額金	4,639	4,350
繰延ヘッジ損益	△370	△311
退職給付に係る調整累計額	△179	△197
少数株主持分	146	121
<b>純資産合計</b>	<b>66,943</b>	<b>67,114</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>124,301</b>	<b>128,265</b>

# 会社概要・株式の状況

## 会社概要

社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社（グループの経営戦略・経営管理）
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年（大正15年）5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	47名／連結：1,715名（2014年9月30日現在）

## 役員

（2014年9月30日現在）

代表取締役社長兼グループCEO	田島晃平
代表取締役兼グループCFO	渡邊雅人
取締役	二見 敦
取締役	藤村孝明
取締役	児島和洋
取締役	川上 順
取締役	田島 謙
取締役（社外）	柳澤勝久
常勤監査役	原口 稔
常勤監査役	太田康信
監査役（社外）	山田勝重
監査役（社外）	菅原英雄

## 株式の状況

（2014年9月30日現在）

発行可能株式総数	197,735,000株
発行済株式の総数	68,137,308株
株主数	4,502名

## 上位株主

（2014年9月30日現在）

株主名	持株数（株）	持株比率（％）
明治安田生命保険相互会社	5,544,000	8.91
田島株式会社	4,327,000	6.95
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,931,173	6.32
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口	3,220,400	5.17
リンナイ株式会社	2,682,464	4.31
橋本産業株式会社	2,610,700	4.19
全国ミツウロコ会持株会	2,044,784	3.28
東燃ゼネラル石油株式会社	1,992,961	3.20
株式会社パロマ	1,685,124	2.70
株式会社三井住友銀行	1,676,331	2.69

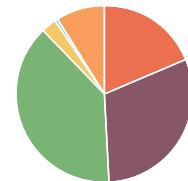
当社は自己株式を5,942,184株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 分布状況

（2014年9月30日現在）

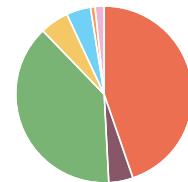
### 所有者別の株式分布状況

個人・その他	12,862,111株	18.87%
金融機関	20,752,104株	30.45%
その他国内法人	26,287,533株	38.58%
外国法人等	1,933,734株	2.83%
金融商品取引業者	359,642株	0.52%
自己名義株式	5,942,184株	8.72%



### 所有株数別の株主分布状況

～499株	2,028名	45.03%
500～999株	207名	4.59%
1,000～4,999株	1,742名	38.69%
5,000～9,999株	239名	5.30%
10,000～49,999株	197名	4.37%
50,000～99,999株	24名	0.53%
100,000株～	64名	1.41%



※自己株式を除いて算出しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（ <a href="http://www.mitsuuroko.com/">http://www.mitsuuroko.com/</a> ）に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

## 郵便物送付先・お問い合わせ先

郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324（未払配当金の受領など）

## ご注意

住所変更、単元未満株式の買取および買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トランスラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店、みずほ銀行	本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります。）
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に口座をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。